

# 進歩していくイスラム市場

～求められる多様性～



応募区分：中学校

チームID：SL600895

チーム名：D.FUTABA

学校名：田園調布雙葉中学高等学校

リーダー：久保田歩

メンバー：青木茉理 郷田杏奈 小嶋千尋 百々杏奈

指導教員：呑海智子



# 目次

1. 要旨

2. 基礎学習

3. 暮らしや社会の変化と経済との関係

4. イスラムについて

5. 投資テーマの決定

6. ポートフォリオの作成

7. 投資家へのアピール

8. ハラルエキスポジャパン

9. ハラルの現状

10. 学んだこと

11. 参考文献

12. 最後に

## 要旨

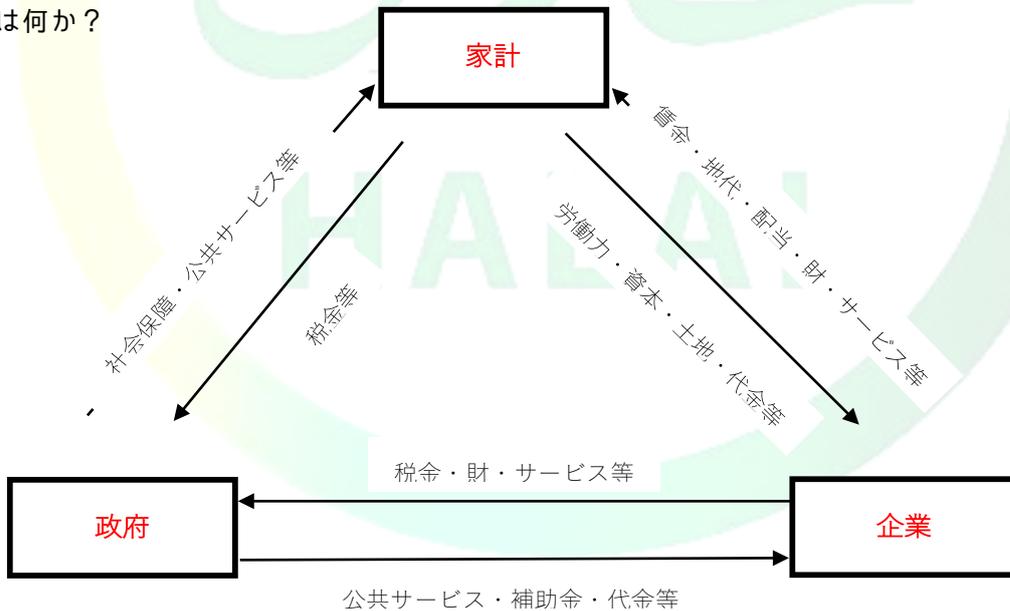


2020年の東京オリンピックが迫る中、来日する外国人も増えてきている。そういった人々に我が国の文化を知ってもらうのは重要なことである。しかし、それだけが本当の「おもてなし」と言えるだろうか。互いの文化を尊重しあい、彼らも日本人も過ごしやすい国を作ることが、私たちに求められていることだと思う。そのひとつがハラルフードである。日本人にとってあまり馴染みのないものだが、それを調べることで日本の海外に対する意識や姿勢が見えてきた。

## 基礎学習



- 1 私たちが日常生活の中で消費している商品は、**私的財**と**公共財**の2種類に大別される。
- 2 下の図は、一国の経済を構成する経済主体間の主な関係を示している。空欄の3つの各主体は何か？



- 3 財やサービスの取引（交換）の手段として使われている貨幣（通貨）に関する次の各文のうち、誤っているものは？ **( b )**
  - a. 貨幣には、商品と交換する際に誰もが受取を拒否しないという共通の価値がある。
  - b. 各国の通貨の価値は、現在でも一定量の金（きん）を尺度にして決められている。
  - c. 通貨には、紙幣や硬貨からなる現金通貨と、当座預金や普通預金などの預金通貨の2種類がある。
  - d. 現金通貨は、強制的な通用力が法的に認められていることから法定通貨（法貨）

と呼ばれる。

- 4 現在の日本の年間出生数は約 100 万人で、第二次世界大戦直後と比べると約 4 割、30 年前との比較でも約 7 割まで低下している。
- 5 今後、少子高齢化が進むことによる日本の社会や経済への影響に関する次の各文のうち、誤っているものは？ ( c )
- a. 日本の人口は 2008 年をピークに減少傾向が続いている。
  - b. 少子化や人口流出によって、将来、消滅する自治体が出てくる可能性もある。
  - c. 少子高齢化による商品市場へのマイナスの影響は全ての分野に共通して現れる。
  - d. 生産年齢人口の減少により、公的年金や医療保険の財政はますます厳しくなる。
- 6 グローバル化の進展に関する次の各文のうち、誤っているものは？ ( b )
- a. あらゆる分野で多くの企業が世界規模で事業展開を行っている。
  - b. 先進国企業による発展途上国への海外投資では、途上国側のメリットは雇用の創出のみで限定的である。
  - c. 国内にある生産拠点の海外移転により地域経済が衰退する「空洞化」の問題が懸念されている。
  - d. グローバル化の進展は経済だけにとどまらず、文化の面でも大きなインパクトをもたらす。
- 7 近年は、利害が一致しやすい 2 つ以上の国や地域間で協定を締結する事例が増えている。具体的には、自由貿易を促進する FTA と、「環太平洋経済連携協定 (TPP)」のように幅広い分野での協力を規定する EPA がある。
- 8 グローバルな対応が求められているグローバルな課題 (グローバル・イシュー) として適切でないものは？ ( g )
- a. 地球環境問題
  - b. 人口問題
  - c. 感染症対策
  - d. 国際経済格差と貧困
  - e. 核廃絶
  - f. ワーク・ライフ・バランス
  - g. すべて適切
- 9 GDP (国内総生産) に関する次の各文のうち、誤っているものは？ ( a )
- a. GDP とは、一定期間に国民全体として生産したモノやサービスの付加価値の合計額をさす。
  - b. GDP とは、一定期間に国内で生産されたモノやサービスの付加価値の合計額をさす。
  - c. GDP には名目 GDP と実質 GDP とがあり、その違いは物価の変動分を考慮するかどうかにある。
  - d. 近年は実質 GDP が名目 GDP を上回っており、これは日本がデフレ状態にあることを示している。
- 10 需要・供給の法則のポイントは、価格が消費者・生産者の行動に対しインセンティブとして機能することである。
- 11 直接金融の例として適切でないものは？ ( e )
- a. 社債
  - b. 公債
  - c. 株式
  - d. 銀行預金
  - e. 投資信託
  - f. すべて適切
- 12 株式を所有することで得られる金銭的な利益には、インカムゲインと呼ばれる配当金とキャピタルゲインと呼ばれる売却益とがある。

- 13 株式投資などの際に考慮すべきリスクとして適切でないものは？ ( e )
- a. 価格変動      b. 金利変動      c. 為替変動      d. インフレ
- e. 自然災害      f. すべて適切

## 暮らしや社会の変化と経済との関係



課題 2020年東京オリンピック

理由 メンバー全員がバレーボール部ということもあり2020年、オリンピック選手の年代になる自分達に大きく関わりのある事だから。

経済や企業活動への影響 オリンピックに際しての競技場の建設などにかかる莫大な費用やオリンピックへの外国人観光客の旅行費などで経済効果が発生し日本が好景気になる事が期待できる。

課題 環境問題

理由 石油、天然ガスなどの資源が減っている現状から会社規模の問題でなく、全ての人が環境問題について深く考えていく事ができていないと感じたから。

経済や企業活動への影響 大気汚染や公害といった環境問題によって人体に影響が出てくる事から生産者の減少につながり、それと共に経済にも支障が出始める。

課題 少子高齢化

理由 日本の現代社会において最も大きな課題のひとつが少子高齢化であり、これからの社会を担っていく私達の世代に大きく関係することであるから。

経済や企業活動への影響 高齢者人口が増加することにより市場拡大は考えにくく、今後益々高齢者が増えることから、生産年齢人口の減少に伴い日本全体の生産力が落ちていく事が予想される。又それに付随して年金問題が発生している現状もある。

## イスラムについて



イスラム基本説明

イスラムは1400年前にアラビア半島で始まった教えで、この教えを信じる人々がイスラム教徒（ムスリム）と呼ばれる。イスラム教は世界三大宗教のひとつで、イスラム教徒は世界全体に18億人以上。その半数以上がアジアに暮らしており、インドネシア、パキスタン、バングラデシュ、インドなどが多く人口を抱えている。またヨーロッパに4000万人以上、中国にも2000万人以上が暮らしている。イスラム教徒は、この世に唯一の神

(アッラー)を信じて帰依し、神の教えを日々実践して過ごす人々である。彼らにとって、信仰の告白、礼拝、喜捨、断食、聖地メッカへの巡礼からなる5つの基本行為、および神の教えで定められた行動規範を守ることは義務とされている。

### スンニ派・シーア派について

イスラム教は、**スンニ派**と**シーア派**のふたつの派閥に分かれている。ムスリムの約90%は**スンニ派**である。「スンニ」とは、イスラムを広めた預言者ムハンマドの「慣行」つまりどのように行動したか、判断を下したかという意味であった。**スンニ派**にとっての信仰の拠り所は、ムハンマドが神から授かったとされる言葉を記した「コーラン」と、ムハンマドのスンニをまとめた「ハディース」である。イスラム教の大きな特徴は、教えの中に、個人の信仰と社会のルール両面があることである。そのため、イスラム教にのっとった法律、イスラム法（シャリーア）が存在する。スンニ派の場合、シャリーアの根拠となるのがコーランとハディースである。さらにシャリーアに詳しいイスラム法学者がその内容から神の意志を倫理的に読み解く「類推」と、それを多くのムスリムが受け入れている状態にある「合意」もムスリムの根拠とされる。一方、少数派の**シーア派**は、シャリーアの根拠として類推や合意を認めていない。それは、人間はもともと不完全なものであるため、知恵を絞りそれが多くの信者に受け入れられても、それが神の意志に適っているとは限らないという考え方があるからである。そんな**シーア派**にとって大切なのは「絶対に間違いを犯さないリーダー」である。そこで**シーア派**は、ムハンマドが持っていた特別なリーダーとしての資質が、各時代の導師（イマーム）に血脈を通じて宿ると考えたのである。



### ハラールについて

ハラール（ハラール）とは、シャリーアにおいて合法なもの、許されたものの事を言う。逆はハラムまたはノンハラールと言い、イスラム教徒にとって有害なものの意味を表す。主にハラムに分類されるのが豚や犬、アルコール類、ワニ、カメ、カエルなどの両生類、かぎ爪や捕食性のある鳥、ネズミ、ノミ、ハエなどの不快とみなされる生物、不浄な水に生息する魚、汚染された水や遺伝子組換え食品があげられる。これらの食品以外であっても、さらにシャリーアでは加工や調理、輸送、保管に関して定められており、それに従ったものがハラールとされる。

### イスラム市場

人口18億人以上と、今や世界人口の約四分の一を占めるムスリム。今後も人口が増え、マーケットの拡大が確実視されているイスラム市場は、世界各国の企業の注目の的である。

ムスリムが多いエリアは、近年経済成長が著しいASEAN（東南アジア諸国連合）である。特にインドネシアは世界最大のイスラム人口（人口2億5000万人の9割）を持つ国で、マレーシア、シンガポールにも多くのムスリムがいる。ムスリムは中東に住んでいるというイメージがあるかもしれないが、世界のムスリムの半数はアジアに住んでいる。中東に暮らすムスリムはごく一部である。シンクタンクの予測によると、ムスリム人口は2100

年にキリスト教徒を抜いて世界一となると見込まれている。そして現在、ムスリムを対象とした市場規模は推定 300 兆円といわれ、2100 年までには 1000 兆円に達するとの経済予測もある。訪日するムスリムも、訪日外国人旅行者の 2~3%と数字だけを見れば低調であるが、2013 年に東南アジア諸国のビザ発給要件が緩和されて以降、年間 3 割ペースで増加しており、今後も東京オリンピックに向けて加速度的に増えていくだろう。確かなことは、今イスラム市場は新たなビジネスチャンスになっているということである。

## 投資テーマの決定



分野・企業	日付	出所	内容	選んだ理由
イスラム教徒向け市場	7月 14日	話し合い	ハラールフードの製造・販売やその他礼拝に関するものの製造・販売	日本に来る外国人観光客は年々増加しており、また 2100 年にはイスラム教徒の数がキリスト教徒の数を上回ると言われているから。
クールジャパン産業	7月 14日	経済産業省ホームページ	日本の自動車・電化製品・漫画・アニメーション・食文化・伝統文化の発信	経済産業省がクールジャパン産業に力を入れているから。

### 投資テーマ

日本企業のイスラム関連事業

### テーマ選定理由

日本に来る外国人観光客は年々増加しており、2020 年には東京オリンピックも開催され多くのイスラム教徒の方々が訪日することが予想されるから。また 2100 年にはイスラム教徒の数がキリスト教徒の数を上回ると言われているから。またチームの全員がカトリック系の中学校に通っており、普段触れることのない宗教に関心を持ったから。

## ポートフォリオの作成



### 第 1 スクリーニング

インターネットなどを使用しハラール事業を展開している総勢 53 社を抽出した。

株式会社番号	会社名	株式会社番号	会社名
--------	-----	--------	-----

2001	日本製粉（株）	3133	海帆（株）
6952	カシオ計算機（株）	4958	長谷川香料（株）
2602	日清オイリオグループ（株）	4965	曾田香料（株）
2082	味の素（株）	3880	大王製紙（株）
8802	三菱地所（株）	2612	かどや製油（株）
2009	井村屋グループ（株）	9201	日本航空（株）
1332	日本水産（株）	4183	三井化学（株）
9042	阪急阪神 HD（株）	3099	（株）三越伊勢丹 HD
2003	日東富士製粉（株）	2819	エバラ食品（株）
4114	（株）日本触媒	7630	（株）壺番屋
2267	（株）ヤクルト	8267	（株）イオン
4527	ロート製薬（株）	4368	扶桑化学工業（株）
9062	日本通運（株）	9021	西日本旅客鉄道（株）
4658	日本空港ビルディング（株）	9202	ANAHD（株）
8233	（株）高島屋	9901	東武鉄道（株）
9983	（株）ファーストリテイリング	2157	（株）コシダカ HD
2809	キューピー（株）	1333	マルハニチロ（株）
2809	ユーグレナ（株）	2201	森永製菓（株）
2502	アサヒグループ HD（株）	7532	（株）ドン・キホーテ HD
4911	資生堂（株）	9362	兵機海運（株）
9044	南海電気鉄道（株）	2915	ケンコーマヨネーズ（株）
4985	アース製薬（株）	2286	林兼産業（株）
7616	（株）コロワイド	753	花王（株）
4755	楽天（株）	8202	ラオックス（株）
4581	大正製薬 H（株）	7886	ヤマト・インダストリー（株）
4324	（株）電通	8020	兼松（株）
8905	イオンモール（株）		

## 第2スクリーニング

# STEP1

## 投資評価

第一スクリーニングで絞った 53 社の中で安全性を調べるために投資評価として、PER、PBR、ROE、BPS、配当率、自己資本比率を以下の表を基に評価した

# STEP2

## 社会評価

STEP1に加えて社会評価として、不祥事、環境への配慮、ポリシー、労働環境、社会貢献、株主優待、ホームページの充実性、知名度をそれぞれ3段階で評価した。

STEP1と2の合計を100点満点で算出し53点以上の企業に絞った

### 投資評価の採点基準

得点	PER	PBR	ROE	配当利回り	自己資本比率	BPS
10	~10	~1	15~	3~	70~	4500~
8	10.1~14	1.1~1.5	12~14.9	2.5~2.9	60~69.9	4000~4499.9
6	14.1~20	1.6~2	9~11.9	2~2.49	50~59.9	3000~3999.9
4	20.1~30	2.1~2.5	6~8.9	1.5~1.9	40~49.9	2000~2999.9
2	30.1~40	2.6~3	3~5.9	1~1.49	30~39.9	1000~1999.9
0	40.1~	3.1~	2.9~	~0.9	~29.9	~999.9

### 投資評価の採点結果（カッコ内は獲得点数）

会社名	PER	PBR	ROE	配当利回り	自己資本比率	BPS	計
(株)海帆	24.66(4)	1.87(6)	8.47(4)		25.00(0)	472.92(0)	14
(株)ファーストリテイリング	35.48(2)	6.18(0)	7.25(4)	1.01(2)	46.40(4)	5634.35(10)	22
キューピー(株)	27.62(4)	2.04(4)	8.33(4)	1.10(2)	57.50(6)	1423.19(2)	22
カシオ計算機(株)	11.16(8)	1.91(6)	15.36(10)	2.78(8)	54.90(6)	750.77(0)	38
日清オイリオグループ(株)	12.96(8)	0.67(10)	4.49(2)	2.14(6)	49.9(4)	697.47(0)	30
マルハニチロ(株)	15.73(6)	1.68(6)	4.71(2)	1.12(2)	17.50(0)	1602.75(2)	18
日本製粉(株)	15.23(6)	0.95(10)	6.252(4)	1.82(4)	52.70(6)	1624.29(2)	29
味の素(株)	25.48(4)	2.29(4)	9.83(6)	1.33(2)	49.40(4)	482.70(0)	20
(株)ユーグレナ	157.89(0)	8.63(0)	4.06(2)		87.20(10)	163.37(0)	12
森永製菓(株)	25.40(4)	3.28(0)	11.49(6)	0.72(0)	45.20(4)	1486.72(2)	16
アサヒグループHD(株)	20.63(4)	1.98(6)	8.69(4)	0.86(0)	46.20(4)	1818.86(2)	22
三菱地所(株)	29.90(4)	1.72(6)	5.55(2)	0.86(0)	28.40(0)	1075.32(2)	14

阪急阪神 HD(株)	14.19(69)	1.16(6)	10.22(6)	1.03(2)	31.00(2)	2921.83 (4)	28
井村屋グループ (株)	30.83(2)	1.57(8)	4.08(2)	1.48(2)	46.30(4)	858.86 (0)	18
日本水産(株)	10.22(8)	1.45(8)	13.70(8)	1.13(2)	20.20(6)	306.86(0)	26
日東富士製粉(株)	13.34(8)	0.58(10)	5.74(2)	2.47(6)	64.90(8)	6245.60 (10)	44
(株)日本触媒	14.05(8)	0.98(10)	9.56(6)	2.28(6)	68.30(8)	6747.73(10)	48
(株)ヤクルト本社	26.83(4)	2.33(4)	8.78(4)	0.70(0)	57.50(6)	1951.89(2)	20
花王(株)	23.57(4)	4.23(0)	14.82(8)	1.63(4)	52.70(6)	1332.79(2)	24
(株)資生堂	33.86(2)	2.8(2)		0.79(0)	48.40(4)	908.65(0)	8
ロート製薬(株)	20.67(4)	1.80(6)	8.28(4)	1.22(2)	61.40(4)	958.63(0)	24
日本通運(株)	13.37(8)	0.94(10)	6.77(4)	2.29(6)	35.20(2)	512.28(0)	30
兼松(株)	6.15(10)	0.61(10)	10.24(6)	3.57(10)	21.20(0)	273.23(0)	36
大正製薬 HD(株)	34.39(2)	1.31(8)	3.54(2)	1.06(2)	82.90(10)	7587.62(10)	34
長谷川香料(株)	25.53(4)	0.99(10)	4.00(2)	1.62(4)	78.20(10)	1870.04(2)	32
曾田香料(株)	17.02(6)	0.38(10)	1.24(0)	2.94(8)	73.30(10)	1625.66(2)	36
大王製紙(株)	13.23(8)	1.06(8)	9.19(6)	0.89(0)	24.90(0)	1112.34(2)	24
兵機海運(株)	16.21(6)	0.97(10)	6.36(4)		15.80(0)	141.38(0)	20
かどや製油(株)	17.25(6)	1.36(8)	6.79(4)	2.28(6)	80.10(10)	2249.96(4)	38
日本航空(株)	5.56(10)	1.30(8)	21.54(10)		53.40(6)	2270.32(4)	38
三井化学(株)	11.16(8)	1.30(8)	5.83(2)	1.83(4)	30.30(2)	376.36(0)	26
(株)コシダカ HD	11.64(8)	2.29(4)	14.10(8)	1.85(4)	40.40(4)	755.09(0)	28
扶桑化学工業(株)	16.58(6)	2.08(6)	13.37(8)	1.54(4)	83.00(10)	1120.15(2)	36
アース製薬(株)	32.28(2)	2.05(6)	2.66(0)	2.40(6)	41.60(4)	2342.63(4)	22
ケンコーマヨネーズ(株)	23.95(4)	2.57(4)	11.19(6)	0.84(0)	45.60(4)	1397.04(2)	20
林兼産業(株)	13.49(8)	1.58(8)	8.36(4)		17.70(0)	575.52(0)	20
エバラ食品工業 (株)	23.42(4)	0.95(10)	4.82(2)	1.38(2)	61.90(8)	2067.47(4)	30
(株)コロワイド	34.99(2)	5.01(0)	1.15(0)	0.26(0)	16.70(0)	388.88(0)	2
(株)壺番屋		4.25(0)	12.39(8)	1.41(2)	85.30(10)	874.82(0)	20
(株)ドン・キホーテ HD	23.33(4)	2.70(2)	11.24(6)	0.58(0)	41.30(4)	1464.31(2)	14
楽天(株)		3.06(2)	8.20(4)		15.50(0)	429.01(0)	6
イオン(株)	119.925(0)	1.09(10)	0.51(0)	2.09(6)	13.90(0)	1310.93(2)	18

ラオックス(株)		1.11(8)	27.82(10)		82.30(10)	706.35(0)	28
(株)三越伊勢丹 HD	45.67(6)	0.73(10)	4.71(2)	1.15(2)	43.60(4)	1425.38(2)	26
(株)電通	48.05(6)	1.57(8)		1.56(4)	34.80(2)	3272.79(6)	26
イオン(株)	12.35(8)	1.05(8)	7.54(4)	1.84(4)	34.20(2)	1398.66(2)	28
西日本旅客鉄道(株)	11.31(8)	1.35(8)	10.23(4)	2.25(6)	30.90(2)	4598.47(10)	40
ヤマト・インダストリー(株)	6.82(10)	0.54(10)	3.11(2)		27.70(0)	236.87(0)	22
日本空港ビルディング(株)	27.30(4)	2.60(2)	7.86(4)	0.97(0)	52.10(6)	1436.09(2)	18
A N A HD(株)	11.82(8)	1.24(8)	9.48(6)	2.22(6)	35.40(2)	217.99(0)	30
(株)高島屋	14.29(6)	0.73(10)	5.96(2)	1.47(2)	40.90(4)	1127.92(2)	26
南海電気鉄道(株)	1.97(6)	1.39(8)	6.54(4)	1.25(2)	21.80(0)	343.42(0)	20
東武鉄道(株)	16.48(6)	1.45(8)	8.82(4)	1.10(2)	22.4(0)	375.13(0)	20

合計結果 (赤色付きの企業は絞った結果)

会社名	投資 評価	不祥事	環境	ポリ シー	労働 環境	社会 貢献	株主 優待	HP	知名度	合計
(株)海帆	14	5	0	3	3	0	5	5	3	38
(株)ファーストリテイリング	22	0	5	3	0	5	0	3	5	43
キューピー(株)	22	0	5	5	0	5	5	5	5	52
カシオ計算機(株)	38	0	5	3	5	5	0	5	5	66
日清オイリオグループ(株)	30	0	5	3	5	5	5	5	5	63
マルハニチロ(株)	18	0	5	5	3	5	5	5	5	51
日本製粉(株)	29	5	3	3	3	5	5	5	5	63
味の素(株)	20	0	5	5	5	5	5	5	5	55
(株)ユーグレナ	12	5	5	5	5	5	5	5	3	50
森永製菓(株)	16	0	5	5	3	5	0	5	5	44
アサヒグループ HD(株)	22	0	5	3	3	5	0	0	5	43
三菱地所(株)	14	0	5	3	3	5	0	5	5	40
阪急阪神 HD(株)	27	0	5	5	3	5	5	5	5	60
井村屋グループ(株)	18	5	3	5	5	3	5	5	5	54
日本水産(株)	26	0	5	5	3	5	0	5	5	54
日東富士製粉(株)	44	5	3	3	3	0	5	3	3	69

(株)日本触媒	48	0	5	5	3	5	0	5	3	74
(株)ヤクルト本社	20	5	5	5	3	5	5	5	5	58
花王(株)	24	0	5	5	3	5	0	5	5	52
(株)資生堂	8	5	5	5	5	5	5	5	5	48
ロート製薬(株)	24	3	0	5	3	5	5	3	5	53
日本通運(株)	30	5	5	5	0	5	0	5	5	60
兼松(株)	36	0	5	5	3	5	0	3	3	60
大正製薬 HD(株)	34	5	5	5	3	5	0	5	5	67
長谷川香料(株)	32	5	0	3	3	0	5	5	3	56
曾田香料(株)	36	5	5	3	3	0	0	3	3	58
大王製紙(株)	24	0	5	5	3	5	5	5	5	57
兵機海運(株)	20	5	0	3	3	0	0	3	3	37
かどや製油(株)	38	3	5	3	2	5	5	5	5	71
日本航空(株)	38	0	5	3	3	5	5	5	5	69
三井化学(株)	26	0	5	5	4	5	0	5	5	55
(株)コシダカ HD	28	5	0	3	0	0	5	5	3	49
扶桑化学工業(株)	36	5	3	3	3	0	0	3	0	53
アース製薬(株)	22	0	5	0	3	5	5	5	5	50
ケンコーマヨネーズ(株)	20	3	5	3	0	5	5	5	3	49
林兼産業(株)	20	3	0	3	3	0	0	3	0	32
エバラ食品工業(株)	30	0	5	5	3	3	5	5	5	61
(株)コロワイド	2	0	3	3	0	5	5	3	3	24
(株)壺番屋	20	3	5	5	3	5	5	3	5	54
(株)ドン・キホーテ HD	41	0	3	3	0	3	0	3	5	31
楽天(株)	6	3	5	5	3	5	5	5	5	42
イオン(株)	18	5	5	5	3	5	5	5	5	56
ラオックス(株)	28	0	0	0	0	0	0	0	3	31
(株)三越伊勢丹 HD	26	5	5	5	5	5	5	5	5	66
(株)電通	26	0	0	5	0	3	0	5	5	44
イオン(株)	28	5	5	0	5	5	5	5	5	63
西日本旅客鉄道(株)	40	0	3	0	0	5	5	5	5	63
ヤマト・インダストリー(株)	22	5	3	0	3	0	0	5	0	38
日本空港ビルディング(株)	18	5	5	3	3	0	5	5	3	47
A N A HD(株)	30	0	5	5	3	5	5	5	5	63
(株)高島屋	24	5	5	5	5	5	5	5	5	64

南海電気鉄道(株)	20	5	5	3	3	3	5	3	3	50
東武鉄道(株)	20	3	5	5	5	3	5	5	5	56

### 第三スクリーニング



合計点が 35 点以上の企業に絞った

#### アンケート内容

イスラム関連企業に関するアンケートのお願い

拝啓時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私は、現在田園調布雙葉中学校三年の〇〇です。

この度株式学習の為に日経 STOCK リーグでの仮想資金での株式運営に関してのアンケートにご協力いただきたいと思っております。

つきましては 大変恐縮では御座いますが、○月○日までにご回答頂きますと幸いです。

このアンケートが貴社の不利益につながる様な場合は未回答で構いません。

また、この学習以外での使用は一切致しませんのでご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

1 貴社のアンケート内容を公開してもよろしいですか。

社名、内容共に公開していい。

内容のみ公開していい。

公開禁止

2 貴社はハラール事業活動に積極的に取り組んでいますか。

消極的      1                  2                  3                  4                  5                  積極的

3 貴社は今後ハラール事業に関して、どの様な活動を行っていかうとお考えでしょうか。

4 何故ハラール事業を展開しようと思われたのですか。

5 完成した我々のレポートの送付を希望されますか。

※貴社の回答を利用させて頂く場合がありますので、必要であれば具体的に回答を記載したレポートを送付させて頂きます。

はい

いいえ

#### 井村屋様からの返答

1.貴社のアンケート内容を公開してもよろしいですか。A.社名,内容共に公開して良い

2.貴社はハラール事業活動に積極的に取り組んでいますか。A.5

3.貴社は今後ハラール事業に関して、どのような活動を行っていかうとお考えでしょうか。

A.美味しさ、健康、安全等をポイントとして世界的な「和食ブーム」となっている昨今、インバウンド、アウトバンド共にムスリムの方たちを含む多くの方に「美味しいの笑顔」をお届けする為、安全で安心してご使用していただける調味料の開発、使用するレシピ 提案を行う事によりビジネス的にも意味ある活動に繋げていきます。

4.何故ハラール事業を展開しようと思われたのですか。

A.弊社は、顧客が国内の加工食品メーカーが主である BtoB ビジネスを行っています。

特に即席麺メーカーにおいては、米国、中国、東南アジア、インド等に進出し海外に生産拠点を設け事業拡大を行っています。

また、東南アジアを例に中間層の所得が年々増加し健康志向も高まってきている折、弊社としても海外への事業展開を計画、展開先として東南アジアを選定した為、ハラールへの取組みは必須の要件でした

#### 曾田香料様からの返答

1.貴社のアンケート内容を公開してもよろしいですか。A.社名,内容共に公開して良い

2.貴社はハラール事業活動に積極的に取り組んでいますか。A.5

3.貴社は今後ハラール事業に関して、どのような活動を行っていかうとお考えでしょうか。

A.タイでは、新工場を建設し、ハラール認証製品の製造販売を開始する予定です。

シンガポールでは、ハラール対応に関する豊富な知見を有する現地メーカーと

生産委託（OEM）契約を結び、ハラール認証製品の販売を行っていく計画です。

4.何故ハラール事業を展開しようと思われたのですか。

A.高成長が期待できる東南アジア地域にはイスラム教徒も多く、同地域で顧客のニーズに応え、事業を拡大していくには、ハラール対応は必須であると考えたため。

5.完成した我々のレポートの送付を希望されますか。A.はい

#### 兼松様からの返答

1.貴社のアンケート内容を公開してもよろしいですか。A.社名,内容共に公開して良い

2.貴社はハラール事業活動に積極的に取り組んでいますか。A.5

3.貴社は今後ハラール事業に関して、どのような活動を行っていくとお考えでしょうか。

A.当社は、総合商社として電子・IT、食料、鉄鋼・素材・プラント、車両・航空など様々な分野でビジネスを行っています。ハラール関連ビジネスとしては、食料部門において、イスラム教徒が多数を占めるインドネシアで、ハラールに対応したフードサービス事業を行っています。具体的には、各種お惣菜、ランチボックスなどの加工食品を、お客さまのニーズに合わせ商品提案し、自ら保有するジャカルタ郊外にあるセントラルキッチン（食品加工工場）で製造し、インドネシア（主にジャカルタ）にあるスーパーマーケット、フードコート、コンビニ、日系レストランチェーンなどにご提供しています。2013年後半から生産を開始し、以降、食品をご提供するお取引先も増加しています。経済成長に伴って食文化も向上しているインドネシアの人々に、美味しい食をご提供すべく取り組んでいます。当社ホームページに、関連のニュースリリースを掲載していますので、ご参考までにご覧ください。

・トップページ>ニュースリリース>2012>「兼松、インドネシアにおける食品加工の合併会社を設立」

4.何故ハラール事業を展開しようと思われたのですか。

A.インドネシアで食品ビジネスを展開するには、そこに住む人々や宗教的背景に対応することが必要不可欠だったため。

5.完成した我々のレポートの送付を希望されますか。A.はい

#### A 社様

1.貴社のアンケート内容を公開してもよろしいですか。A.内容のみ公開して良い

2.貴社はハラール事業活動に積極的に取り組んでいますか。A.5

3.貴社は今後ハラール事業に関して、どのような活動を行っていくとお考えでしょうか。

A.ハラール認証を活用し、イスラム圏への販売を進める

4.何故ハラール事業を展開しようと思われたのですか。A.海外ユーザーからの要求があった為

5.完成した我々のレポートの送付を希望されますか。A.はい

#### B 社様

1.貴社のアンケート内容を公開してもよろしいですか。A.内容のみ公開して良い

2.貴社はハラール事業活動に積極的に取り組んでいますか。A.3

3.貴社は今後ハラール事業に関して、どのような活動を行っていくとお考えでしょうか。

A.来店客層の動向に応じ、必要なサービス(祈祷室、ハラール対応飲食店)など導入していく予定。

4.何故ハラール事業を展開しようと思われたのですか。

A.エリアによって、ハラール対応が必要となるショッピングモールがあるため。

5.完成した我々のレポートの送付を希望されますか。A.いいえ

**〔 社 様 〕**

1.貴社のアンケート内容を公開してもよろしいですか。A.内容のみ公開して良い

2.貴社はハラール事業活動に積極的に取り組んでいますか。A.3

3.貴社は今後ハラール事業に関して、どのような活動を行っていかうとお考えでしょうか。

A.イスラム教徒の皆さまの健康づくりに役立つよう、事業展開してまいる所存です。

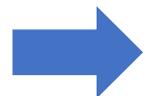
4.何故ハラール事業を展開しようと思われたのですか。

A.インドネシアなど、イスラム教徒の多い国や地域での営業にあたり、ハラール認証取得の必要が生じたためです。

5.完成した我々のレポートの送付を希望されますか。A.はい

**採点基準**

①アンケートの返信をしてくださったか。



返信あり 回答あり・・・20点  
 返信あり 回答なし・・・10点  
 返信なし ……0点

②どれくらいハラール事業に積極的に取り組んでいるか。



20点満点で判断

③今後もハラール事業に更に力を入れていかうとしているか。



30点満点で判断

④ハラール事業に関する情報の充実さ。



30点満点で判断

採点結果（赤色付きの企業は絞った結果）

会社名	①	②	③	④	合計
日本通運(株)	20	20	30	20	90
ANA ホールディングス(株)	0	15	20	30	65
阪急阪神ホールディングス(株)	0	20	20	0	60
(株)高島屋	20	20	20	0	60
(株)壺番屋	0	20	20	20	60
味の素(株)	0	20	20	20	60
(株)ヤクルト	0	10	15	10	35
日清オイリオグループ(株)	0	10	10	10	30
日本製粉(株)	0	10	10	0	20
カシオ計算機(株)	0	10	10	15	35
(株)日本触媒	0	10	10	20	40
長谷川香料(株)	0	10	10	5	25
大王製紙(株)	0	15	10	0	25
三井化学(株)	0	10	15	0	25

扶桑化学工業(株)	0	10	10	0	20
東武鉄道(株)	20	10	10	0	40
(株)三越伊勢丹ホールディングス	10	20	20	0	50
日東富士製粉(株)	0	10	20	20	50
西日本旅客鉄道(株)	0	20	20	0	40
日本航空(株)	0	10	20	10	40
三菱地所(株)	0	10	10	10	30
エバラ食品工業(株)	0	10	10	0	20
井村屋グループ(株)	20	20	30	30	100
兼松(株)	20	20	30	30	100
(株)イオン	20	10	20	20	90
大正製薬ホールディングス(株)	0	15	10	5	30
ロート製薬(株)	0	20	30	30	80
かどや製油(株)	20	20	30	10	80
曾田香料(株)	20	20	20	20	80
日本水産(株)	0	15	30	30	75

### 最終スクリーニング

以下の企業の概要やメリット、デメリットなどを加味し、グループ内での話し合いで14社に絞った。

#### 井村屋グループ (2209) 【食料品】 獲得点数：100点

特色…和菓子で出発、肉まんや冷菓が主力に。調味料生産や首都圏のレストランなど食分野で総合化

事業内容…菓子メーカーの「井村屋」を傘下に持つ持株会社。菓子・食品・デイリーチルド・加温食品  
冷凍・調味料などの製造、販売。小豆を使った商品に強み。

取扱商品…菓子（ようかん、水ようかん、かすてら、和菓子）

食品（シロップ、調味料、袋入あん、「ゆであずき」「しるこ」「ぜんざい」）

アイスクリーム「あずきバー」「やわもちアイス」

メリット（以下略）：前半期アイス、後半期は肉まんて稼ぐ。中国では調味料の市場を拡大中  
アメリカへの冷菓輸出拡大へ

デメリット（以下略）：冷夏や暖冬で売り上げ（業績）悪化

イスラム事業（以下略）：粉末調味料でハラール認証を取得。

#### 兼松 (8020) 【卸売業】 獲得点数：100点

特色…老舗商社。電子・IT、食料、鉄鋼・プラント事業の3本柱。

資源権益への投資はせず、堅実経営。

事業内容…総合商社、(旧)兼松江斜商。電子・デバイス、食料、鉄鋼・素材・プラント、車両・航空事業

分野を扱う国内 8 位の商社。2000 年以降、IT・食料分野を中核に鉄鋼・機械・プラント・環境素材分野に経営資源を集中。

取扱商品…電子・デバイス（電子部品・部材、半導体・液晶・太陽電池製造装置、通信関連機器・部品、電子素材・副資材、情報通信サービス、モバイル他）  
食品・食料（食品、畜産・水産、穀物・食品大豆・油糧種子、ペットフード、食品加工、飼料）  
鉄鋼・素材・プラント（各種鋼板、条鋼・線材、鋼管、ステンレス製品、製鉄・製鋼原料、電池原料、食品素材、医薬品、医薬中間体、原油、石油製品、液化石油ガス）

現在は電子 IT 食料 鉄鋼 環境 素材 分野に事業を集中し、着実な改善を見せている。

携帯の電子が好進的に成長。日産の EV（電気自動車）向けの情報サービスを推進。

インドネシアにおける食品加工の合併会社を設立。

#### **イオンモール（8267） 【小売業】 獲得点数：90 点**

特色…国内流通 2 強の一角。不動産、金融等も展開。M&A で成長。ダイエー買収。

子会社の上場が多い。

業務内容…上場企業 19 社を傘下に持つ大手流通企業グループ、スーパーマーケット業界トップ。GMS 事業を核とした小売り事業を中心に総合金融・ディベロッパー・サービス等の事業を複合的に展開。

取扱商品…GMS（総合スーパー）「イオンリテール」「サンデー」「ジョイ」スーパーマーケット「マックスバリュ」「いなげや」「ベルク」コンビニエンスストア「ミニストップ」「オリジン東秀」。

国内流通の 2 強。総合スーパーや食品スーパーを全国に展開。

郊外ショッピングセンターとマイカルやヤオハンなど M&A（合併、企業買収）で急成長。

衣料が低調。子会社がフランス冷凍食品専門店を都内に开店し高価格帯

#### **日本通運（9062） 【陸運】 獲得点数：90 点**

特色…陸・海・空の総合物流で世界的なシェア。国際複合輸送で実績がある。引っ越し国内大手。日本郵便へ宅配便譲渡。

事業内容…国内最大の総合物流会社、通称「日通」。国内・国際・港湾貨物輸送、物流（3PL）、輸送（鉄道・トラック・航空・内航輸送、倉庫）、引っ越しなど国内外で総合的なサービスを提供。

取扱商品…国内輸送（トラック輸送、国内航空輸送、鉄道輸送、国内海上輸送）  
国際輸送（トラック輸送、国内航空輸送、鉄道輸送、国内海上輸送）  
専門輸送（引っ越し・移転サービス、警備輸送、廃棄物収集運搬、重量品輸送・建設、美術品輸送、セキュリティーサービス）

日本ハラル協会から倉庫・輸送に関するハラル認証を取得。

#### **ロート製薬（4527） 【医薬品】 獲得点数：80 点**

特色…一般用医薬品の目薬で世界首位。「肌研」が急成長しスキンケアが柱に。アジアなど海外へ積極的に進出。

事業内容…一般用医薬品メーカー。

取扱商品…アイケア製品（目薬「新・Vロート」、洗眼薬、ソフトコンタクトレンズ）

スキンケア製品「ハダラボ」「OXY」「オバジ」「メンソレータム」

内服薬（胃腸薬「パンシロン」、風邪薬、便秘薬、乗物酔い薬、関節痛薬、漢方薬、鼻炎内服薬「アルガード」）

目薬、胃薬、スキンケア商品が特に人気。定番ブランド「メンソレータム」に加え、高級品「オバジ」低価格品「肌研」などでヒットを連発し、売上高構成比で5割を超す。

海外展開も活発。大阪大と組み再生医療にも着手。

国内はインバウンド需要が停滞、価格変更と医薬品の薬価改定が響く。

海外は中国で低調と円高が痛い。広告費抑制だが研究開発費増。

ただ、会社想定はただ会社想定は保守的で、18年3月期は中国で持ち直し。

ハラル対応リップクリーム「カリサ」を製造。

### **かどや製油（2612）【食料品】** 獲得点数：80点

特色…ごま油首位。1858年小豆島で創業。原料仕入れ、販売で三井物産と長期密接。無借金経営。

事業内容…食用油（純白ごま油・純白ごま油・ごまラー油）、

食品ごま（ねりごま・いりごま）の製造販売。主力商品は「純正ごま油」。

取扱商品…家庭用商品（ごま油、ラー油、食品ごま、ねりごま）業務用商品（ごま油、ラー油、食品ごま、ねりごま）健康補助食品（ごまセサミン、黒ごま&オリゴ）

ごま油でトップの専門メーカー。→家庭用、業務用ともに需要が増加。

無借金経営。大株主の三井物産 三菱商事とは原料仕入れ 販売面で密接な関係にある。

海外への販売を拡大している。

日本ムスリム協会からごま油に関するハラル認証を取得。

### **曾田香料（4965）【化学】** 獲得点数：80点

特色…香料メーカー中堅。東レ、三井物産系。

ラクトン系合成香料や着臭剤などケミカルに強み。

事業内容…国内第3位の香料メーカー、東レの子会社。調合香料（化粧品・シャンプー等に用いられるフレグランス、飲料・菓子等に用いられるフレーバー）、合成香料・ケミカル製品の製造販売。

取扱商品…フレグランス（化粧品用香料、トイレタリー商品用香料、室内芳香剤香料）

フレーバー（食品用香料、食品用乳化香料、食品用粉末香料、食品用抽出香料、シーズニング）

合成香料・ケミカル（香料素材「ラクトン」「ペンタリッド」、工業用原料、医薬・農薬中間体、着臭剤）

香料で中堅。

フレグランス、フレーバー共に手がける合成香料、ケミカルが強みだが苦戦。

国内香料市場の停滞をにらみ、成長著しい中国での事業拡大に力を注ぐものの減速。

合成単品香料のラクトンニ製品でハラル認証取得。

### **日本水産（1332）【水産・農林】** 獲得点数：75点

特色…水産品冷凍食品の大手。魚油成分使用した化成品が利益柱。

M & A 駆使し世界的 S C M 構築目指す。

事業内容… 大手水産・食品会社、マルハニチロに次ぐ水産業界 2 位。

取扱商品… 水産（漁業、養殖生産、加工、商事・卸、生鮮・冷凍魚・魚油・餌料）

食品（家庭用・業務用冷凍食品、缶詰、びん詰、フィッシュソーセージ、練り製品、チルド食品）  
ファインケミカル（医薬原料、機能性原料、機能性食品、不飽和脂肪酸「EPA」・「DHA」、食品用栄養剤、医療用医薬品、一般用医薬品）

マルハニチロに続く水産業界 2 位。家庭用冷凍食品で成功、売上の半分近くを食品事業が占める。

米国や南米、欧州など、海外でも幅広く展開。東証 1 部に上場する日水製薬の株の過半数を保有。

魚油ベースのサプリメントなどファインケミカル事業が利益柱に成長しているが、足踏み状態。

ユダヤ教徒、イスラム教徒、ヒンズー教徒用の特別機内食を提供。

#### **ANA ホールディングス (9202) 【空運業】 獲得点数：75 点**

特色… 国内線、国際線ともに首位。傘下に LCC のバニラ・エア。ピーチにも出資。

就航地を積極拡大中。

事業内容… 航空輸送・国内路線トップの ANA グループを統括する持株会社。

取扱商品… 航空運送（全日本空輸、ANA ウィングス、エアージャパン）、LCC（バニラ・エア）、航空関連（空港地上支援、航空機整備、車両整備、貨物・物流、フライトケータリング、コンタクトセンター）旅行「ANA スカイホリデー」「ANA ハローツアー」、

世界中堅、日本で JAL と並ぶ航空大手。2015 年度の国際線旅客者数で JAL を抜き、国内国際共に首位に。

国際線は供給量が増えるが、円高やサーチャージ下落の影響が大きいものの、外国航空からの航空事業受託など、周囲事業が好調。

機内食にハラルフードを提供(機内サービス)。

#### **阪急阪神ホールディングス (9042) 【陸運業】 獲得点数：65 点**

特色… 阪急、阪神の関西私鉄グループ。不動産、ホテルなど多角展開。

梅田エリアの再開発にも注力。

事業内容… 阪急電鉄・阪神電鉄グループの純粋持株会社。

取扱商品… 鉄道（神戸線、宝塚線、京都線、阪神本線、阪神なんば線等）、阪急バス、阪急タクシー、阪神タクシー、不動産賃貸（梅田阪急ビル、阪急西宮ガーデンズ、阪急三番街他）、不動産分譲、「阪神甲子園球場」「宝塚大劇場」「六甲山遊園」「東京宝塚劇場」等の運営

阪急鉄道、阪神電気鉄道、阪急交通社、阪急阪神ホテルといった企業を中核とする純粋持株会社。

不動産分譲、賃貸事業、宝塚歌劇やホテル、旅行などのレジャー、サービス事業に加え、コンビニなどの流通事業も展開。

ホテルでのハラル対応商品の提供。

#### **高島屋 (8233) 【小売業】 獲得点数：60 点**

特色… 東京、大阪等全国展開する老舗百貨店。

シンガポール店と SC 子会社・東神開発の寄与大きい。

事業内容… 業界 3 位の大手百貨店、1831 年（天保 2 年）創業の老舗。

取扱商品…百貨店「高島屋」

直営店（大阪、京都、日本橋、新宿、横浜、玉川、柏、大宮、立川、泉北、堺、洛西、港南台）、グループ店舗（岡山高島屋、岐阜高島屋、米子高島屋、高崎高島屋、JR東海高島屋、伊予鉄高島屋）

海外店舗（上海高島屋、大葉高島屋、タカシマヤ・シンガポール）

売上高は百貨店業界3位。1933年に開業したシンガポール高島屋が連結営業売上の5分の1を稼ぐまでになっている。2016年には、ベトナム、17年にはタイに進出する。

訪日外国人の来客数が増えるも消耗品の販売構成が高まり、販売単価が下落。

婦人服を中心に衣料品も苦戦。

ただ、定年退職の増加に伴う人件費の減少や、宣伝費の圧縮で営業増益。

百貨店での礼拝所の設置。

### **壱番屋 (7630) 【小売業】** 獲得点数：60点

特色…カレー専門店を直営・FC展開。中部から首都圏、関西へ拡大。

TOBでハウス食品子会社に。

企業内容…カレー専門店チェーンの最大手。

取扱商品…カレーハウス「CoCo壱番屋」、あんかけスパゲッティ専門店「パスタ・デ・ココ」

カレーらーめん専門店「麺屋ここいち」、鉄板ハンバーグ「につくい亭」

日本最大のカレーチェーン店「CoCo壱番屋」を全国に展開。ハウス食品傘下。海外での店舗展開を加速。パスタ店やラーメン店など業態も拡大へ。既存店は限定メニュー効果で好調持続。

チキンを使ったカレーソースを開発しハラール認証を取得。

### **味の素 (2802) 【食料品】** 獲得点数：60点

特色…調味料国内最大手。アミノ酸技術で飼料・医薬等多角化。海外で家庭用食品拡大。

M&A意欲。

事業内容…大手食品会社。

取扱商品…化学調味料「味の素」「ハイミー」「アジシオ」「あさしお」「ほんだ」「鍋キューブ」

加工食品「クノール」「Cook Do」「ピュアセレクトマヨネーズ」、飲料「ブレンディ

コーヒー」「マキシム」アミノ酸「グルタミン酸」、健康食品、甘味料、医療・介護用食品、

コーヒー（味の素ゼネラルフーズ）

調味料国内最大手。事業領域は多彩。世界100カ国以上で事業を展開。

味の素ゼネラルフーズ（AGF）、J-オイルミルズなど優良企業多数。

国内は『ギョーザ』など主力品の販促効くが、飼料用アミノ酸の販売価格の下落が大打撃。

海外も円高の影響が大きく失速。

イスラム圏などで販売する製品(核酸類、甘味料など)に関してハラール認証を取得。

### **三越伊勢丹ホールディングス (3099) 【小売業】** 獲得点数：50点

特色…百貨店首位。2008年4月の経営統合で誕生。

旗艦店の新宿伊勢丹、日本橋三越は全国屈指の売上高。

事業内容…国内トップの百貨店グループ。伊勢丹新宿本店・三越日本橋本店・三越銀座店の旗艦3店を含め百貨店国内27店舗・専門館6店舗・海外約38店舗を展開。取扱商品百貨店「三越伊勢丹」「岩田屋三越」「丸井今井」編集型小型店「エムアイプラザ(MI PLAZA)」、小売専門店「マミーナ」「三越伊勢丹フードサービス」「イセタン羽田ストア」「イセタンミラー」「イセタンサローネ」

国内最大の百貨店グループ。伊勢丹による三越への実質的救済色が濃く、ファッションに強い伊勢丹の商品情報システムや業務フローの移植、共有がカギ。中国などアジア出店に積極的。

時計など訪日客の高額消費落ち込みが想定を超える。

婦人服を中心に、高採算の衣料も苦戦が続く。海外持分利益が減少。

ハラル認証取得食品をネット販売。

### **日東富士製粉(2003) 【食料品】 獲得点数:50点**

特色…製粉準大手。三菱商事傘下で連携推進。

「ケンタッキーフライドチキン」など外食FCも展開。

事業内容…製粉会社(三菱商事系列、国内4位)。業務用製品(小麦粉・ふすま・プレミックス粉・冷凍生地)、家庭用製品(小麦粉製品・乾麺)の製造販売。日系冷凍食品メーカー(アジア地域への製造拠点移転)への対応に注力。

取扱商品…業務用小麦粉(製パン用、製菓用、中華麺用、日本麺用、パスタ用)  
業務用ミックス粉(製パン・製菓用、スナック用、惣菜用)、  
業務用冷凍生地(冷凍ピザ生地、冷凍マフィン生地)、  
家庭用小麦粉製品(家庭用小麦粉・ミックス粉、そば・うどん等乾麺)

三菱商事傘下会社で、準大手。KFCに原料の製粉供給も行う。製粉は生産重視で出荷量の抑制、販売の下落が響く。しかし食品はミックス粉がKFC向けなど好調。外食は安定。

ハラル認証を取得したプレミックス粉の製造販売。

### **西日本旅客鉄道(9021) 【陸運】 獲得点数:40点**

特色…JR西日本。北陸、近畿、中国、九州北部で営業。

山陽新幹線と上越妙高以西の北陸新幹線を運営。

事業内容…鉄道会社、通称JR西日本。北陸・近畿(三重県の一部含む)・中国および九州北部の2府16県に路線網(新幹線、在来線)を持つ旅客鉄道会社。

取扱商品…鉄道(山陽新幹線、北陸新幹線、北陸本線、山陰本線、関西本線、山陽本線、福知山線他)、  
流通(百貨店、キヨスク、コンビニエンスストア、おみやげ店)、不動産(不動産販売・賃貸、  
ショッピングセンター運営)

営業エリアは北陸、近畿、中国、九州北部の2府16県で、山陽新幹線、京阪神都市圏輸送、在来線を持つ。  
2015年に北陸新幹線が開業。

前期開業特需の北陸新幹線は反動減が想定を上回る。駅ビルは爆買いが減り伸び悩む。

JR東日本と共同商品としてハラル認証付きの焼き菓子を販売。

### **東武鉄道(9001) 【陸運業】 獲得点数:40点**

特色…関東民鉄で路線最長、北関東地盤。東京スカイツリーを軸に再開発推進。

日光など沿線観光に注力。

企業内容…大手私鉄。交通・流通・住宅・レジャーなどの関連会社からなる東武グループの中核。

1都4県に4路線（伊勢崎線・東武スカイツリーライン、日光線、野田線、東上線）営業。

取扱商品…鉄道（伊勢崎線、日光線、野田線、東上線）、東武バス、東武運輸レジャー（東武ホテル、東京スカイツリー、東武動物公園）不動産（メトロポリタンプラザビル、東武会館、柏駅ビル他）

北関東1都14都市が地盤。連結、持株会社は約100社で不動産業、百貨店、スーパー、東武動物公園やホテルなど事業を多角展開。2012年に「東京スカイツリー」と、併設する商業施設「東京ソラマチ」が営業開始。鉄道は旅客収入が好調、動力費の減少も効く。百貨店は減収を人件費の削減で補う。

名門「金谷ホテル」を2016年に買収に続き、米国ホテル大手と手を組み、日光にリッツ・カールトンホテルを2020年夏開業予定。

東武鉄道が経営するソラマチに礼拝堂を設立。

#### 日本触媒 (4114) 【化学】獲得点数:40点

特色…触媒から出発しアクリル酸世界3位、2006年から高吸水性樹脂世界シェア首位。

電子材料が新規の成長柱。

企業内容…化学品メーカー。

取扱商品…酸化エチレン（エチレングリコール、エタノールアミン、高級アルコールエトキシレート、コンクリート混和材ポリマー）アクリル（高吸水性樹脂、アクリル酸エステル、アクリル酸特殊エステル）吸水性樹脂（高吸水性樹脂、耐塩性吸水性樹脂、園芸用保水剤）

触媒から出発し、基礎品の酸化エチレン、アクリル酸、同エステルベースに成長。

アクリル酸、同誘導品で世界3強の一角を占める。

主力の高吸水性樹脂のシェアがやや低下。価格底打ちだが、競合社の動きがやや不穏。

食品添加物でハラル認証の取得(コハク酸二ナトリウム、コハク酸など)。

#### 日本航空 (9201) 【空運業】獲得点数:40点

特色…国内線、国際線ともに2位。公的資金投入とリストラで更生法終結。豪カンタスと格安航空合併。

企業内容…国際線網と国際線乗客数で日本トップの航空会社。

世界的な航空連合である「ワンワールド」の一員、アメリカン航空と提携。

取扱商品…国際航空（日本航空）国内航空（日本航空、日本トランスオーシャン航空、日本エアコミューター、北海道エアシステム、ジェイエア、琉球エアコミューター）空港旅客サービス（搭乗手続、案内業務、運航補助業務、搭載コントロール業務）

2015年にANAに旅客数等で抜かれ、国際線、国内線共に2位に。

2000年に米同時多発テロなどによる需要の減少と無理な拡大路線が重なり、経営破綻。

→2011年更生法終了、2012年株式再上場。競争激化で国内線単価の減少。

国際線は中国、欧州などで客数不振。業務需要も想定以下。

国際線でハラル認証機内食を提供。

カシオ計算機 (6952) 【電気機器】 獲得点数：35点

特色… 樫尾4兄弟が創業。腕時計、電子辞書で高シェア。デジカメも展開。

電子看板など新規事業育成。

企業内容… 日本有数の精密電子機器メーカー。

取扱商品… 時計（「G-SHOCK」「プロトレック」「OCEANUS」、スポーツウォッチ、電波ソーラーウォッチ、電波時計、クロック）デジタルカメラ「EXILIM」電子辞書、電卓、電子文具、プロジェクター、ハンディターミナル

精密機器大手。他社に先駆けた独創的なヒット商品を展開。腕時計は「G-SHOCK」ブランドが著名。

「G-SHOCK」や関数電卓は数量が硬調。

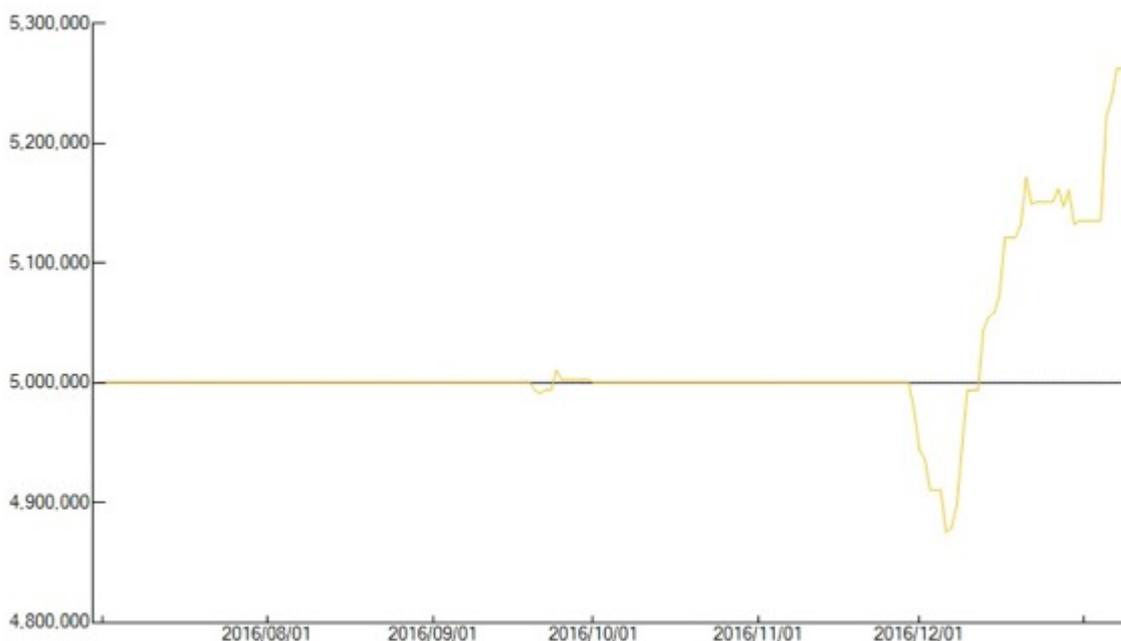
しかし円高により楽器が想定より減少。

聖地メッカの方向を指す腕時計を販売。

ポートフォリオ イスラム関連事業を行なっている日本企業

業種	銘柄（コード）	株式市場	購入株数 （株）	購入額（円）
食品	井村屋グループ（株）（2209）	東証二部	200	280000
小売業	イオン（株）（8267）	東証一部	200	315800
陸運	日本通運（株）（9062）	東証一部	1000	591000
医薬品	ロート製薬（株）（4527）	東証一部	200	325400
食品	かどや製油（株）（2612）	東証一部	100	334500
水産	日本水産（1332）	東証一部	100	51400
空運	ANAホールディングス（株） （9202）	東証一部	1000	317400
鉄道	阪急阪神ホールディングス（株） （9042）	東証一部	100	361500
サービス	（株）壺番屋（7630）	東証一部	100	375000
食品	味の素（株）（2802）	東証一部	100	220150
食品	日東富士製粉（株）（2003）	東証一部	100	378500
鉄道・バス	西日本旅客鉄道（株）（9021）	東証一部	100	695700
鉄道・バス	東武鉄道（株）（9001）	東証一部	100	54800
電気機器	カシオ計算機（株）（6952）	東証一部	100	147900
小売業	（株）三越伊勢丹ホールディングス （3099）	東証一部	100	127200
合計			3500	

## 値動きから気づいたこと



11月末から12月前半にかけて下落した原因としては1000株の大口購入をしたANAホールディングスや日本通運がOPECの原油減産による価格高騰の影響を受けたとみられるが、その後次期アメリカ大統領にトランプ氏が選ばれ、インフラ投資や大型減税などの内需活性化で米国景気が盛り上がり、グローバルに波及することへの期待から株価は全体的に上昇傾向となった。

このことから、日本の株価は世界の経済事情と密接に関わっているということを強く感じた。

## 投資家へのアピール



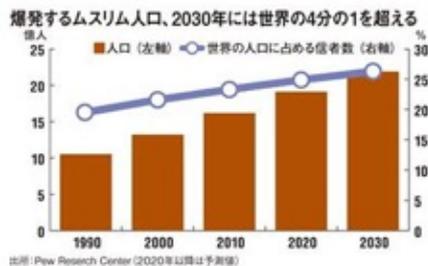
投資テーマの決定等の項目でも書いた通り、世界的なイスラム教徒の増加に加え、日本でも外国人観光客の増加や2020年の東京オリンピックの開催に伴って年々イスラム市場は発展を遂げている。

### イスラム教徒の増加

世界の宗教人口予測によると、世界の宗教別人口は現在キリスト教徒が最大勢力だが、2070年にはイスラム教徒とキリスト教徒がほぼ同数になり、2100年になるとイスラム教徒が最大勢力になるとの予測を米調査機関ピュー・リサーチ・センターがまとめた（日本経済新聞より）【図1】。これは世界的なイスラム市場の長期的な発展や有益性を示している。また、日本でのイスラム市場は9.2億ドルに対して世界のハラール市場は5800億ドルであり日本においても今後の成長が見込まれる。

【図1】

【図2】



訪日ムスリム数の増加率

	10年	14年	増加率
トルコ	9,790	14,559	49%
インドネシア	71,037	139,849	97%
マレーシア	70,315	153,206	118%
イスラエル	2,511	3,329	33%
シンガポール	26,963	33,966	26%
インド	9,756	12,843	32%
ロシア	6,020	7,497	25%
	-	-	-
	-	-	-
	-	-	-
訪日ムスリム数合計	302,165	538,859	79%
訪日外国人数	8,611,175	13,413,467	56%
ムスリム率	3.5%	4.0%	-

(出典: 日本政府観光局、Pew Research Center)

### 外国人観光客など日本を訪れる人の増加

近年円安などの影響により、日本を訪れる外国人、特に東南アジアからの旅行者が増加傾向にある【図2】。東南アジアにはイスラム教徒が多く ASEAN 諸国の 4 割がムスリムである為、「おもてなし」するためには日本を訪れたイスラム教徒に対して環境整備が必要不可欠である。また 2020 年には東京オリンピックが開催され、世界各国から人が集まってくるので、より一層環境作りを進めていかなければならない。その為日本でのイスラム教徒向けの市場は拡大が見込まれる。また、環境整備としては主にハラール認証やムスリム向けメニュー、ピクトグラムの表示などの食事への対応、礼拝場所や礼拝グッズ（キブラコンパス・礼拝マット・礼拝着など）の礼拝への対応の 2 つがある。

### 社会的価値

近年 IS（通称イスラム国）と呼ばれる組織の影響などでイスラム教自体に対する誤った認識や差別が広まる傾向にある。その中でイスラム教について正しく理解し多様性が求められる社会でイスラム市場に投資することは社会的価値が高いと思う。

## ハラールエキスポジャパン



11月23日、浅草で開催されたハラールエキスポジャパン2016に参加した。

ハラールフードの出店が多くあったが他にもイスラム教徒用の礼拝所、イスラムの民族衣装であるヒジャブの専門販売ブースなどが設けられており、非常にイスラム教に特化した環境だった。

参加した際に『割烹やま』という名称でハラール事業を展開されている株式会社明成代表取締役、山田 裕貴様のセミナーに参加した。そこで感じたのはハラール事業を展開するにあたって考えなければいけない事、しなければならない事が私達が想像していたよりも遥かに多くかつ複雑である事だった。

具体的に述べると、

- ・豚とアルコールを決して混ぜない（例：砂糖を白くするために豚の骨を使っていることがあるので変更する。）
- ・冷蔵庫などの機具は常に新品であるようにする
- ・安全性を維持するために全員がハラールについて勉強する
- ・添加物の不使用

- ・ベジタリアン、ハラール、コーシャなど様々な消費者への対応をまとめず個別対応をする
- ・英語での原材料名の表示をする
- ・外国人の食の好みを理解する
- ・アレルギー等への対応もきめ細やかにする
- ・ネット通販やケータリング、お土産などより多くの手段でハラール事業を展開していく

等である。株式会社明成がハラール事業を展開したきっかけはこれから主流になるハラール事業について取り組んでいこうと決心したからと山田様は仰った。特に強調して仰っていた事が、ムスリムの方に安心して食べて頂けるのはもちろん、そこに日本の和食らしさを感じて頂けるハラールフードを作っていくのが大切だという事だった。他にも試食会やケータリングパーティー、様々なご苦労やご経験から出る国の地域別の食の好みの表や体験談など貴重なお話を伺った。ハラールフードについてより一層関心が深まった時間であった。セミナーの他に日本とムスリムを結ぶようなイベントや最新の技術を駆使したイスラム教徒用の製品が展示してあったり、1日を通してハラールに触れる事ができ、とても収穫の多い経験であった。

## ハラールの現状

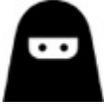


日本国内ではここ数年のうちに、ハラール事業を展開する企業が物凄い勢いで増えてきている。イスラム教の説明で書いた通り、ハラールはムスリムにとって非常に大切な宗教行為である。ハラムの食品を使わないことはもちろん、ハラールの食材でもシャーリアに従って処理しなくてはならないし、過去に豚肉を切った包丁を使うことも、シャーリアでは許されないことである。しかし、ここ数年のハラールブームによって、不確かな知識と足りない配慮でムスリムに食事を提供する企業が増えてきている。「これくらいなら」という日本人の勝手にいい加減な考えの押し付けによって困っているムスリムも少なくない。ある認定団体は、日本国内でのハラールの厳格な担保は困難であると同時に「おもてなし」の気持ちがあるからと、独自の基準で「ローカルハラール」として認定してしまうのだ。ローカルハラールには正式なものとは比べて認定が取得しやすく、お金で取得出来たり、後の厄介な定期検証もないという、ムスリムにとっては許しがたいものもある。しかしローカルである以上、イスラム圏への輸出はできない。一方良識な認定団体は、日本で完璧なハラール環境を作るのは不可能だと知っているため、国内の飲食店向けのハラール認定マーク発行には慎重である。

ムスリムは豚肉やアルコールを摂取したからと言って健康上の被害やアレルギー症状が出るわけではない。しかしそれは作為、無作為に関わらずムスリムの人々やイスラム教を侮辱していることに繋がる。

ハラールへの対応は、今後の日本にとって重要なことであるが、ビジネス面だけ強調され大切な部分を取りこぼしているところがある。今の日本にとって必要なのは、ハラール認定マークではなくムスリムに対する理解と思いやりである。

## 学んだこと



### イスラムについて

キリスト教の学校に通っている私達はイスラム教との接点がなかった為、それに興味を持ったが、ハラールについて5人で学んでいくうちに、日本の様々な企業が今後イスラム圏へのハラールフードなどの対応を真剣に考えていることに気づくことが出来た。

また、イスラム教やキリスト教、ユダヤ教は昔から対立しているという歴史的背景もありお互いの溝を埋めることは不可能に近いが、近年広がりつつある排他的な思考を持つてはいけないと思うと同時に、あまりこうした宗教問題に深く関わっていない日本人でも色々な宗教や考え方を深く知るべきだと思った。

また、これから多様性が求められていく中で、日本は特定の宗教を信仰している人が少ないので、私達を含む日本人は信仰を持っている人たちに対して一層の配慮をしていかなければならないと思った。そしてそれは政府や自治体の問題ではなく、私たち日本人一人ひとりに求められているのではないか。

### 株について

今まで私達は株について興味や関心がなかったが、今回ストックリーグに参加することで株は難しいが、自分たちの身近なところにあるのだと感じた。また、自分たちの身の回りの会社が、どのようにして成り立っているのか、私たちの生活にどのような影響を与えているのかなど知らなかったことを知る機会を得られたのはとても良いことであつたし、貴重な経験ができたことに感謝したいと思う。

## 参考文献



- 「日本ハラール協会」 <http://www.jhalal.com/>
- 「日本製粉株式会社」 <http://www.nippon.co.jp/>
- 「カシオ計算機株式会社」 <http://casio.jp/>
- 「味の素株式会社」 <https://www.ajinomoto.co.jp/>
- 「三菱地所株式会社」 <http://www.mec.co.jp/>
- 「井村屋グループ株式会社」 <https://www.imuraya.co.jp/>
- 「日本水産株式会社」 <http://www.nissui.co.jp/>
- 「阪急阪神ホールディングス株式会社」 <http://www.hankyu-hanshin.co.jp/>
- 「日東富士製粉株式会社」 <http://www.nittofuji.co.jp/>
- 「株式会社日本触媒」 <http://www.shokubai.co.jp/ja/>
- 「株式会社ヤクルト株式会社」 <http://www.yakult.co.jp/>

「ロート製薬株式会社」 <http://www.rohto.co.jp/>  
「日本通運株式会社」 <http://www.nittsu.co.jp/>  
「兼松株式会社」 <http://www.kanematsu.co.jp/>  
「大正製薬株式会社」 <http://www.taisho.co.jp/>  
「長谷川香料株式会社」 <http://www.t-hasegawa.co.jp/index.php>  
「曾田香料株式会社」 <http://www.soda.co.jp/>  
「大王製紙株式会社」 <http://www.daio-paper.co.jp/>  
「かどや製油株式会社」 <http://www.kadoya.com/>  
「日本航空株式会社」 <http://www.jal.com/ja/>  
「三井化学株式会社」 <http://jp.mitsuichem.com/>  
「扶桑化学工業株式会社」 <http://www.fusokk.co.jp/>  
「エバラ食品工業株式会社」 <http://www.ebarafoods.com/>  
「株式会社壹番屋」 <http://www.ichibanya.co.jp/comp/>  
「イオン株式会社」 <http://www.aeon.info/>  
「株式会社三越伊勢丹ホールディングス」 <http://www.imhds.co.jp/>  
「西日本旅客鉄道株式会社」 <https://www.westjr.co.jp/>  
「ANA ホールディングス株式会社」 <http://www.ana.co.jp/group/>  
「株式会社高島屋」 <http://www.takashimaya.co.jp/>  
「東武鉄道株式会社」 <http://www.tobu.co.jp/>  
「株式会社海帆」 <http://www.kaihan.co.jp/>  
「株式会社ファーストリテイリング」 <http://www.fastretailing.com/jp/>  
「キューピー株式会社」 <http://www.kewpie.co.jp/>  
「日清オイリオ株式会社」 <http://www.nisshin-oillio.com/>  
「マルハニチロ株式会社」 <http://www.maruha-nichiro.co.jp/>  
「株式会社ユーグレナ」 <http://www.euglena.jp/>  
「森永製菓株式会社」 <http://www.morinaga.co.jp/>  
「アサヒグループホールディングス株式会社」 <http://www.asahigroup-holdings.com/>  
「花王株式会社」 <http://www.kao.com/jp/>  
「株式会社資生堂」 <http://www.shiseido.co.jp/>  
「株式会社コシダカホールディングス」 <https://www.koshidakaholdings.co.jp/>  
「ケンコーマヨネーズ株式会社」 <http://www.kenkomayo.co.jp/>  
「アース製薬株式会社」 <http://www.earth-chem.co.jp/>  
「林兼産業株式会社」 <https://www.hayashikane.co.jp/>  
「株式会社コロワイド」 <http://www.colowide.co.jp/>  
「株式会社ドン・キホーテ」 <http://www.donki-hd.co.jp/>  
「楽天株式会社」 <http://corp.rakuten.co.jp/>

「ラオックス株式会社」 <http://www.laox.co.jp/>

「株式会社電通」 <http://www.dentsu.co.jp/>

「イオンモール株式会社」 <http://aeonmall.com/>

「ヤマト・インダストリー株式会社」 <http://www.yamato-in.co.jp/>

「日本空港ビルディング株式会社」 <http://www.tokyo-airport-bldg.co.jp/company/>

「南海電気鉄道株式会社」 <http://www.nankai.co.jp/>

「経済産業省クールジャパン産業」

[http://www.meti.go.jp/policy/mono\\_info\\_service/mono/creative/index.html](http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/creative/index.html)

「日本経済新聞 イスラム教徒、2100年には最大勢力 世界の宗教人口予測」

[http://www.nikkei.com/article/DGXLASGM04H0L\\_W5A400C1EAF000/](http://www.nikkei.com/article/DGXLASGM04H0L_W5A400C1EAF000/)

「ハラールメディアジャパン」 <http://www.halalmedia.jp/ja/>

「拡大するイスラム市場。ハラールの基本と日本企業の現状を追う」

<https://www.foods-ch.com/shokuhin/1456462207575/>

「拡大するハラール市場と現状 ～ハラールマーケットの基礎～」

<http://www.maff.go.jp/tohoku/kihon/yusyutu/kyougikai/pdf/tanaka-siryou.pdf>

最後に



お忙しい中私達のアンケートにお答えいただいた諸企業の方々、そしてご協力いただいた多くの皆様に心から御礼申し上げます、筆を置きたいと思う。